

3/6 早稿

たが、当面は経済回復を優先させる方針を示した。

報告は对外関係を安定させたい意向もにじませた。

台湾情勢については経済文

化交流や中華文化の発揚などに言及し、中台關係を平和的に発展させるとした。

昨秋の共産党大会で習近平総書記（国家主席）が言及した「武力行使を放棄しない」との表現はなかった。

外交方針も「独立自主的な平和外交政策を履行する」など原則論にとどめ、強硬路線は影をひそめた。

一方、米国との対立長期化に備えた軍備増強の方針が鮮明になった。経済が落ち込む中でも、国防費の伸び率は前年を0・1㌽上回った。中国の軍事費は日本の防衛費（約六兆八千億円）の四・五倍に膨らんだ。李氏は報告で「訓練と戦闘準備を全面的に強化する」とも言及した。

会期は十三日まで、十

日に国家主席や全人代常務委員長（国会議長に相当）、

十一日に首相を選出する。

中国国防費7.0%増

全人代開幕 日本の4.5倍に

面
李氏は政府活動報告で、
国内経済について「民間投
資や民営企業の見通しは不
定性であり、安定した雇用

を示した。重慶施策として

は非常に難しい」との認識

を示した。個人消費の拡大や外資導入

などを挙げた。異例の三期

目に入る習近平国家主席の

政策に内外の注目が集まつ

【北京＝新賀憲弘】中国の全國人民代表大会（全人代、国会に相当）が五日、北京の人民大会堂で開幕した。李克強首相は政府活動報告で今年の経済成長目標を前年より0・5㌽低い「5%前後」と設定した。

報告は、新型コロナウイルス禍の打撃を受けた経済状況への危機感を鮮明にし